

## <特別講座> 伝統野菜の可能性をさぐる

「和食」のユネスコ無形文化遺産登録をきっかけに、全国の地域に根ざした多様な食材が注目され、伝統野菜・地方野菜にも関心が高まっています。「攻める農業」というスローガンと、それを狙う地域ブランド化戦略との関連で、伝統野菜がキーワードになることも少なくありません。マスコミに登場する機会も増えてきました。

伝統野菜は、改良された作物とは違い、扱いがむずかしくビジネスにはならないといわれていますが、実際に伝統野菜を活用している中食産業や、販売している青果物宅配業が現れています。

遺伝資源として生物の多様性を担保する上からも、伝統野菜の存在は重要です。伝統野菜を博物館入りさせず、生きた食材として活用していくためには何が必要か。今回の特別講座では、さまざまな立場の方から、伝統野菜に関連する取り組みを報告していただき、伝統野菜がよりよく存在していく可能性をごいっしょに考えます。

席に限りがありますので、お早めにお申し込みください。

### <プログラム>

- |                           |                   |       |
|---------------------------|-------------------|-------|
| 1 伝統野菜に関連する農林水産省の取り組みについて | 農林水産省 生産局農産部      | 菱沼義久氏 |
| 2 メディアのなかの伝統野菜            | 朝日新聞 編集委員         | 大村美香氏 |
| 3 青果物宅配業者が取り組む伝統野菜        | (株)大地を守る会 取締役     | 長谷川満氏 |
| 4 SOZAIの魅力をアップする伝統野菜      | (株)ロック・フィールド 購買本部 | 田中秀幸氏 |



主催 NPO法人<野菜と文化のフォーラム>  
 日時 2014年6月7日(土) 13時~17時  
 会場 女子栄養大学 香川綾記念館センター講義室(東京都豊島区駒込3-24-3)  
 参加費 3,000円(当日お支払いください)  
 申込方法 先着100名 下記申込書をFAX、E-mailのいずれかでお送りください。  
 送り先 FAX: 03-5315-4978 E-mail: info@yasaitobunka.or.jp  
 お問い合わせ 03-5315-4977(10:00~18:00)ワーズワークス内[野菜の学校]事務局

### ■[野菜の学校]特別講座申込書

申込日: 2014年 月 日

|            |  |      |             |
|------------|--|------|-------------|
| ふりがな<br>氏名 |  |      | 男性( ) 女性( ) |
| 年齢         | 20~39歳( ) 40~59歳( ) 60歳以上( )   |      |             |
| 職業         | 1( )生産者 2( )流通・加工 3( )研究機関 4( )食育・料理 5( )種苗関係<br>6( )メディア 7( )その他( ) |      |             |
| 連絡先        | 自宅( ) 勤務先( )   |      |             |
| 住所         | 〒  |      |             |
|            | TEL:   | FAX: |             |
|            | E-mail:  |      |             |